

ニュージーランドの緊急利下げについて 0.75%ポイントの大幅利下げ

2020年3月16日

フォワードガイダンスを導入し、量的緩和の可能性にも言及

2020年3月16日（現地、以下同様）、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は政策金利を1.00%から0.25%に引き下げることを発表しました。RBNZは今月25日に定例の金融政策会合を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス問題への対策のために前倒しで会合を実施し、大幅利下げの決断に至りました。

さらに、「少なくとも今後12か月間は政策金利を据え置く」というフォワードガイダンスを導入しました。これは利上げを実施しないと同時にさらなる利下げ（マイナス金利導入）の可能性も限りなく低いことを意味します。そして、「現時点では、追加の金融刺激策として国債購入が最良の手段であると委員会は同意している」と、量的緩和政策導入の可能性について言及しています。次回会合は5月13日に開催される予定ですが、新型コロナウイルス問題の終息が見通せなければ、準備が整い次第、前倒しで量的緩和政策の導入が決定される可能性も考えられます。3月16日には、隣国のRBA（オーストラリア準備銀行）が経済を支えるために追加の政策対応を3月19日に発表するとの声明を出しており、追加利下げとともに量的緩和政策を導入するとの期待が高まっています。実際にRBAが量的緩和政策を導入すれば、RBNZに対する期待も一段と高まることが想定されます。

RBNZは今年7月から市中銀行に自己資本比率の引き上げを求める規制強化策を導入する予定となっていました。これを1年間延期することも同時に発表しました。また、RBNZは政府が近く大規模な経済刺激策を発表することを示唆しており、金融・財政政策を総動員し、今後もニュージーランド経済を強力にサポートすることが期待されます。

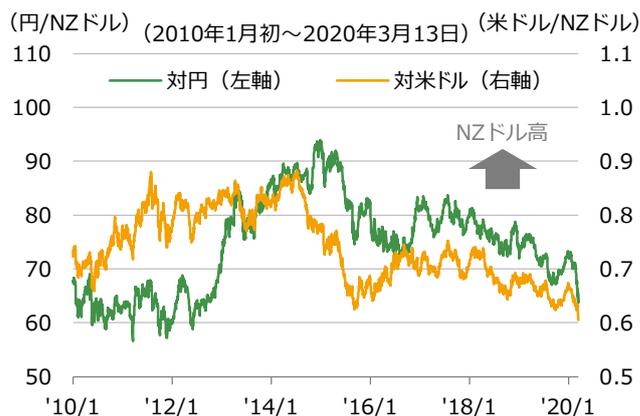
政策金利と10年国債利回り



※政策金利は決定日ベース
※10年国債利回りは2020年3月13日まで

(出所) ブルームバーク

NZドルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。